



地元力財団

あなたの「ほっとけない」が見つかる これからの社会貢献 100

地元をよくするために、私たちは何をすべきなのでしょう。地元をよくするために何かしたいけど何をすれば良いのか分からないというあなたに向けて、あなたの地元、ここ和歌山の地域課題をデータを用いて見える化していきます。毎回異なるテーマ(分野)を取り上げ、地元の課題を端的に表すデータをご紹介します。

何が課題？数字でみる和歌山県

Theme12 「わかやま NPO 白書 2015」より



市町村別 NPO 法人数 TOP5

- 第1位 和歌山市 174
- 第2位 田辺市 44
- 第3位 橋本市 24
- 第4位 紀の川市 19
- 第5位 海南市 15

活動分野別 NPO 法人数 TOP5

- 第1位 まちづくり 248
- 第2位 保健・福祉 240
- 第3位 団体運営支援 221
- 第4位 子どもの健全育成 207
- 第5位 社会教育 202

和歌山初の全 NPO 法人調査
わかやま NPO センターでは3月中旬、「わかやま NPO 白書 2015」を発行しました。和歌山県内ではじめて、和歌山県認証の全 NPO 法人を対象とした法人実態調査を実施。宛先不明等で送付できなかった数を差し引いた346団体のうち163団体から回答があり、回収率は47%。内閣府や他の研究機関がおこなう同様の調査よりはるかに高い回収率を得たのも大きなポイントです。

活発な活動は NPO 法人は、法律
これらから和歌山県内では福祉に関する活動に力を入れている NPO 法人が多いことがうかがえます。また3団体に1団体がまちづくりに取り組んでいるというのも興味深い結果といえるでしょう。

組織規模は NPO 法人は理事を3名以上、監事を1名以上、置くことが義務付けられています。
アンケートでは、理事の人数が10名以下という団体が8割を超えています。また、有給職員については、半数弱の団体が常勤職員を、版数強の団体が非常勤職員を、それぞれ雇用できている実態がうかがえました。

しかし、回答のあった団体の理事や職員数をもとに、県内すべての NPO 法人の役員・職員数を推計した結果、約6千人台後半となり、県民約140人に1人がなんらかの NPO 法人に関わっている計算となりました。また昨年夏の調査では、県内 NPO 法人の経済規模は約47億円となっており、和歌山県内の経済主体の一翼を担う存在にまで成長していることがうかがえます。

みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- 湯浅おもちゃ博物館・移転 1周年イベント**
会場前では餅つきや振る舞い餅、ぜんざいの販売なども行われます。
日時 3月29日(日) 10:00～
場所 湯浅おもちゃ博物館(湯浅町湯浅 679-2)
参加費 当日のみ無料
問い合わせ グリーンソサエティ (0737-63-0401)
備考 周辺は駐車場が限られていますので、公共交通機関の利用をお勧めします。JRきのくに線湯浅駅から徒歩15分。
- 第11回孫市まつり**
「迫力の鉄砲演武と時代活劇英雄「雑賀孫市」に会おう」をテーマに開催されます。
日時 3月29日(日) 10:30～16:00
場所 和歌山市・本願寺鷲森別院とその周辺
内容 野外劇「信長が一番恐れさせた男・戦国最強のガンマン! 雑賀孫市参上!!」、鉄砲演武、講演会「名取三十郎と日本三大忍術伝書『正忍記』について」、ライブ、和太鼓演奏、歴史キャラ集合、演歌ショーなど
参加費 無料
問い合わせ 孫市の会 (073-42-3-3136)
- ポエムを書こう!**
万葉館で定期開催中の日曜体験教室。
日時 3月29日(日) 14:00～15:30
場所 片男波公園万葉館
講師 武西和さん
参加費 400円(申込み必要)
定員 12名(先着順)
問い合わせ 片男波公園万葉館 (073-446-5553)
- LINE 株式会社代表取締役社長 CEO 森川亮氏 講演会**
起業に興味がある、なにかにチャレンジしたい、視野を広げたい、という方におすす。
日程 4月5日(日) 19:00～20:30
場所 和歌山県 JA ビル2階和ホール
テーマ インノベーションと起業
参加費 3000円(招待や割引制度あり、詳細は http://ptix.co/1DHknHP へアクセスを)
問い合わせ 合同会社・和(なごみ・info@nagomisya.info)

このほかの情報もたくさん掲載!
「わかやまイベントボード」URL
PC版 http://eventboard.shiminjuku.jp/
携帯電話版 http://eventboard.shiminjuku.jp/m/

Editor's Voice

地元力財団では「地元に対する想いを寄付に託す」という新しい寄付の「カタチ」を提案しています。寄付はもちろん、明日からできる「あなたらしい」社会貢献のカタチを紙面で紹介してきました。当財団では「社会貢献支援相談窓口」を開設し、個人や団体、企業のみならずの地元に対する想いをカタチにしていくお手伝いをしたいと考えています。

また、昨今の社会貢献意識の高まりを受け、遺産を地元のために活かしてほしいという声やニーズはますます高まっています。地元の課題が多種多様になるなか、それらの声に応える新しい仕組みが求められています。

公益財団法人わかやま地元力応援基金では、「遺産を地元のために提供したい、寄付したい、活用してほしい」という想いと、大切な遺産を地元の市民公益活動団体へとつなぎ、活用していくための相談を受け付けています。

■お問い合わせ先
公益財団法人わかやま地元力応援基金「これからの社会貢献 100」係
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-428-0011 FAX 073-428-0012
E-mail info@jimotofund.jp

NPO 紙上講座 (5) NPO 法人格を取得するには ②

今回は、NPO 法人格を取得するための条件を取り上げました。今回は具体的実務について取り上げます。

NPO 法人を設立する際には、主たる事務所の所在地を管轄する所轄庁に対して NPO 法人設立認証申請をおこないます。和歌山県内に事務所を置く場合は和歌山県庁です。所轄庁は一般には都道府県・政令指定都市ですが、県外では政令指定都市ではなくても市や町が NPO 法人設立認証事務をおこなっているところもあります。

さて、NPO 法人の設立認証申請時には次の 11 種類の書類の作成・提出が法律で定められています。

1. 法人設立認証申請書(所轄庁所定の様式)
2. 法人の定款
3. 役員名簿
4. 役員の就任承諾書及び誓約書の謄本(写し)
5. 役員の住所または居所を証する書面(住民票等)
6. 社員のうち10人以上の者の名簿
7. 確認書(宗教活動を主たる目的にしないこと等)
8. 設立趣旨書
9. 設立についての意思の決定を証する総会の議事録の謄本(設立総会の議事録のコピー)
10. 設立当初の事業年度及び翌事業年度の事業計画書
11. 設立当初の事業年度及び翌事業年度の活動予算書

いずれの書類もひな形や記載例が準備されています。これらは和歌山県庁のウェブサイトからダウンロードすることもできますので、じっくりと取り組めばどなたでも書類の作成は可能です。

ほとんどの法人組織が設立に費用がかかるのに対して、NPO 法人は設立認証や登記に関する手数料はかかりません。NPO 法人設立では、コピーや郵送などの実費、法人登記時に必要になる法人印の作成などの費用程度の負担で済みます。しかし、NPO 法人設立認証申請時は、申請後の事務手続きが済んだあと、2ヶ月間の縦覧期間を設けることが法律で定められているなどしており、申請してから認証が下りるまで3ヶ月前後かかります。費用はほとんどかからないが時間がかかるというのが NPO 法人設立に関する手続きの特徴です。

では、NPO 法人の設立を考えたときにしなければならないことは何でしょうか。

なんといっても「NPO 法人制度を十分把握し、検討する」です。これまでも触れましたが、NPO 法人格を取得すると法人として様々な契約行為ができたり、固定資産などを法人として管理することができるなど、組織として活動を継続させるには適しています。しかし、NPO 法人格を取得したからといって即、補助金や助成金があるわけではありませんし、事業年度終了後3ヶ月以内に所轄庁への事業報告書の提出、法律や定款に基づいた運営、法務局への登記事務など、事務量も確実に増えます。

法人化で得られるであろうメリットと、課せられる義務などを天秤にかけて、慎重に検討されることをおすすめします。

今回は、実際に NPO 法人設立に至るまでの流れをご紹介しながら、法人格を取得するときに必要な事柄をお知らせします。